



.....

家族の和 解サービ ス

家族調和を一緒に
保ちましょう

.....



Washington State Department of
CHILDREN, YOUTH & FAMILIES



家族の和解サービス

家族和解サービス (FRS) は、家族と対立し、家出をする可能性のある若者、家庭のルールに従わない若者、薬物乱用、または家族内の他の懸念がある青少年や家族にサービスを提供する自主的なプログラムです。

FRSの目標は、家族を保護し、強化し、和解をもたらし、青少年が家庭以外の場所に行ってしまうのを防ぐことです。

プログラム:

- 12歳から17歳の青少年を対象にしています。
- 危険にさらされている青少年、サポートを必要とする子供達、家族の対立に関連する問題を解決するために、家族内でスキルと支援を行います。
- 家族単位を維持し、強化します。

両親または青少年は、サービスセンター (1-866-363-4276)に電話してFRSにリクエスト下さい。介護者、部族のケースワーカー、DCYFケースワーカー、法執行機関、HOPEセンター、危機住宅センター(CRC)または一晩の青少年避難所は、青少年または親に代わってサービスに連絡することもあります。

ケースワーカーは、ケースの割り当てから24時間以内に家族に連絡し、面接と評価をスケジュールします。但し、週末と休日はこれに該当しません。ケースワーカー、青少年、家族は、現在の紛争と、問題解決に有用な可能なリソースについて話し合います。

サービスは、若者と親を結びつけるように組立られています。サービスには以下が含まれますが、これらに限定されません。

- 家族アセスメント(調査)
- 短期家族介入サービス
- 薬物乱用治療および/またはカウンセリングの紹介
- メンタルヘルスサービスの紹介、集中サービス(WISe)とのラップアラウンド(必要に応じて)
- 要請により必要な場合、危険にさらされている青少年(ARY)またはサービスを必要とする子供(CHINS)の請願書の提出に対する支援



青少年と両親のためのオプション

家族アセスメント(調査)

家族の調査により、家族の強み、ニーズ、資源、そして現在の家族紛争への影響をより深く理解するための情報を収集します。家族の対立の削減を支援し、家族単位を維持するために、コミュニティリソースおよび/またはDCYFサービスを特定するために、両親や青少年と協力して調査を完了します。リソースへの紹介には、短期的な家族介入サービス、薬物乱用評価、メンタルヘルスサービス、WiSeなどがあります。





リスク・ユース(ARY) リスクを持つ青年たち

ワシントン州法は、危険にさらされている青少年(ARY)を少年(Juvenile)として定義しています。

- (a) 親の同意なしに、少なくとも72時間連続して居所が不明になっている青少年；
- (b) 青少年の行動が本人または他の人の健康、安全または福祉を危険にさらすような青少年で、親のいう事を聞かない者；又は
- (c) 刑事告発がないが、薬物乱用に関連し、薬物乱用の問題を抱えている人。

ARY請願書を提出する前に、家族調査の完了が必要です。この請願書は、青少年が従わなければならない合理的な条件を設定することによって、少年裁判所の援助を求めながら、親または法的保護者が青少年の親権を維持することを可能にします。これには、青少年に教育プログラムの受講の義務や、家族の規則に従うこと、カウンセリング・サービスに出席することが含まれます。裁判所は、ARY決定を下す前に、親にカウンセリングまたはその他のサービスへの参加を要請することもあります。親は、裁判所指定の計画に関連する費用について財政的責任を負うものとします。

支援を必要とする子供達 (CHINS)

カウンセリング、親近者との生活、または青少年とその両親との間の紛争を解決に費やされた努力に関わらず、青少年が家族の家の外で保護される場合、青少年または親はCHINS請願書を提出することができます。

ワシントン州法は、サービスを必要とする子供を少年 (Juvenile) と定義しています。

- (a) 青少年の行動が本人または他の人の健康、安全または福祉を危険にさらすような青少年の親の制御を超えている者。
 - (b) 親、CRC、家外の配置または裁判所命令の配置のいずれか二つ以上の別々の機会に、少なくとも24時間連続して同意なしに法執行機関に報告された人;そして
 - (i) 深刻な薬物乱用の問題が顕著に見える場合;または
 - (ii) 本人または他の人の健康、安全または福祉に重大な危害を及ぼす危険性を生じる行動を示した場合;又は
 - (c) (i) 必要とするもの:
 - A. 食料、避難所、医療、衣類、教育などの必要なサービス;または
 - B. 家族を維持または再会するように設計されたサービス;(ii) これらのサービスへのアクセスが不足しているか、利用を拒否した者;そして
 - (iii) 両親が家族構造を維持するための継続的だが努力しているのが明らかだが成功していない、家族構造を維持するための努力を続けることができないか、または不本意である;または
- (d) 「性的搾取された子供」たち



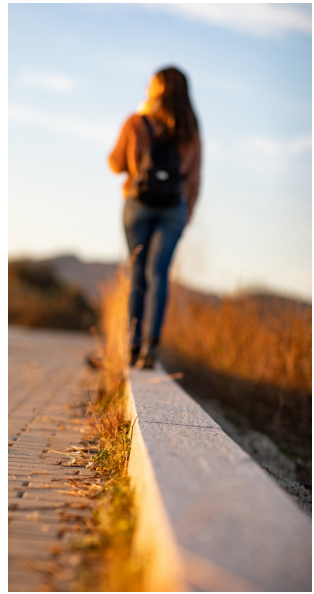
両親は、上記の定義に記載されている青少年に関する条件が存在する場合、CHINS請願書を提出することができます。青少年またはDCYFケースワーカーは、上記の条件のいずれかが存在する場合、特に親が青少年が親の家に住むことを許さない場合、青少年が住むために別の場所を手配できない場合、CHINS請願書を提出することができます。

請願書を提出する人は、紛争を解決しようとしたことを証明し、すべての合理的な選択肢が使い果たされ、家族が解決に向けて取り組み続けている間、若者が家の外で生活を営むのが最善であると判断された時です。CHINS請願書を提出する前に、DCYFケースワーカーとの家族調査の完了が必要です。

裁判所が家外の配置を承認した場合、青少年は通常、親戚や家族の友人と一緒に暮らすことになります。DCYFは、配置を監督し、子供がライセンスを受けた児童養護施設に引き取られた場合、またはライセンスを取得する必要のない親戚と一緒にすることになった場合にのみ、サービスの提供します。裁判所が青少年を非親族の無免許の家に置いた場合、DCYFは事件を閉鎖し、その行動を裁判所に知らせます。両親またはDCYFは、サービスを提供できない場合、CHINS裁判所の手続きの却下を、以下の理由で要求することができます：

- (a) 青少年は30日以上連続して裁判所の承認を受けた場所にいない。
- (b) 両親または青少年、または関連する全ての人々は、家族を再統一することを目的とした利用可能で適切な介入に協力することを拒否したり；または
- (c) DCYFは、再統一につながるすべての利用可能で適切なリソースを使い果たした。

裁判所は、家族の再統一の進捗状況を確認するために、90日以内に審査公聴会を開きます。審査審理が行われたときに青少年が家に帰れない場合、青少年は最長6ヶ月間配置されたままになる可能性があります。裁判所は、できるだけ早く家族を合同させるサービスに参加するよう両親に指示することもあります。





コミュニティリソース

治療サービス

生命に関わる緊急事態については、9-1-1に電話してください。行動療法サービスをお求めの場合は、ワシントン州メンタルヘルス紹介サービス(1-833-303-5437)に連絡し、紹介スペシャリストに連絡してください。メディケイド対象の子供や、複雑な行動ニーズを持つ21歳までの青少年は、インテンシブ集中サービス(WISE)プログラムによるラップアラウンドを通じて追加のサポートを受ける資格があります。WISEは家庭や地域で提供されています。

誰かが自殺を考えている場合は、1-800-273-8255の自殺防止ライフラインにお問い合わせください。

メンタルヘルスや化学物質依存プログラムの詳細については、青少年または両親は24時間ワシントン回復ヘルプライン(1-866-789-1511)にお電話ください。ヘルプラインは、ワシントン州の住民に匿名で機密の危機介入とサービス紹介を提供します。

児童虐待や放置、または商業的に性的に搾取された子供(CSEC)に関する懸念については、1-866-ENDHARM(1-866-363-4276)にお問い合わせください。

この文書のコピーを別の形式または言語でお入り用の場合は、DCYF住民係(1-800-723-4831 / 360-902-8060、 ConstRelations@dcyf.wa.gov)までお問い合わせください。